



「良い占いをいたします」
人気上昇中の美人占い師

竹村 亜希子さん



余興を盛り上げ売る

東段装のマンションの一室に「占いの王座」というシヤレた事務所がある。占い師のスタッフ約千人が同事務所所勤務しており、その代表者がこの人。占い師というと街頭で店を出している老人のイメージが強いが、この人は写っていて下さい、と売ってこの人です。むしろ(企業側)の人なから美人である。自分の運命というものは誰でも興味をもっているのじきな返すと、だんだん気がすんいですが、「こす兼いでしたかと」といながら話してくれが、女性味もこの道に入つた。小学校時代、生命学の本を讀んでやっているうちを權えてしまったという。中学三年生の頃、他人気が急上昇。各社のイベントでひびひびだとなりには全国を行脚した。そこで事務所をかま(あんき)してスタッフを集めて現任に至っている。開設時は、同業者の一派からいやがらせを受けた。その人の人格がわかるという。おもしろいのは自分の職業も占いで決めたこと。「東家か」と帰って向かやうと

いう気はあったのです。そこで向を売った方がいいか占った。占いを売れ、とたんで「だが、それからの行動力がすごい。企業ひとりでのリネス、売り込めたい。」「企業のパート」とか言っただけで占いのコーナーをおいて下さい、と売ってこの人は、むしろ(企業側)の人なから美人である。自分の運命というものは誰でも興味をもっているのじきな返すと、だんだん気がすんいですが、「こす兼いでしたかと」といながら話してくれが、女性味もこの道に入つた。小学校時代、生命学の本を讀んでやっているうちを權えてしまったという。中学三年生の頃、他人気が急上昇。各社のイベントでひびひびだとなりには全国を行脚した。そこで事務所をかま(あんき)してスタッフを集めて現任に至っている。開設時は、同業者の一派からいやがらせを受けた。その人の人格がわかるという。おもしろいのは自分の職業も占いで決めたこと。「東家か」と帰って向かやうと

ある。スタッフたちは、栄セントラルパーク地下街の「タロットQ」というコーナーで振動受けた。また、当人たちの経営方針、営業活動も占いによって決めるのもおもしろい。

竹村さんにも込まれる相談は、ビジネスや恋愛に関するところが多く、「占いはあくまで良い方向へと導く手助けをするためのもの。占いの通りに行動していたら、それは新興宗教のようになってしまつ」と強い指摘をする。

人気もあり、有名な「今、意外にも「占いをやめた」といっているのが本音だ」と。毎日精神を集中して真剣に取り組むだけなどの技方は並大抵ではない。ここで言えば、直接占いをするのでなく、占いをベースとした何かをしたい」と話していた。

【プロフィール】名古屋生まれ、愛知淑徳高校を卒業するが、名古屋市内の銀行に勤務するが、三年で退職し上京する。名古屋に再び戻り、占いの道に進む。最初フリーで活動していたが、五、六年に現事務所「占いの王座」を開設する。現在同事務所を運営するが、たわら、「マスコミ」などでも活躍。名古屋在住。